

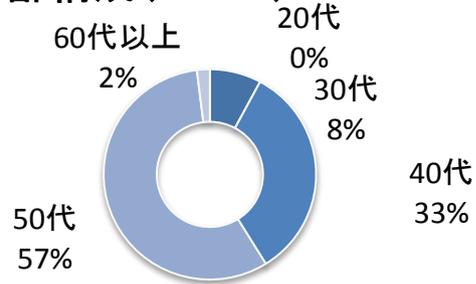
平成28年度人権教育指導者養成事業「人権セミナー」アンケート集計結果

日時:平成28年6月18日(日)14:00~
場所:ホテルグランドプラザ浦島

1 年齢

	数	%
20代	0	0%
30代	4	8%
40代	17	33%
50代	29	57%
60代以上	1	2%
計	51	100%

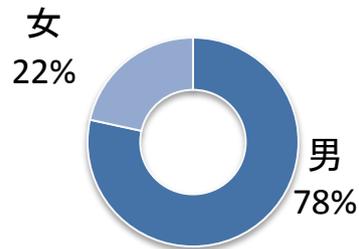
参加者の年齢構成 (n=51)



2 性別

	数	%
男	40	78%
女	11	22%
計	51	100%

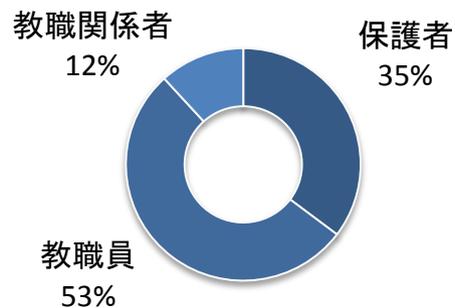
参加者の男女比 (n=51)



3 参加者の構成

	数	%
保護者	18	35%
教職員	27	53%
人権擁護委員	0	0%
教職関係者	6	12%
福祉関係者	0	0%
民生児童委員	0	0%
その他	0	0%
計	51	100%

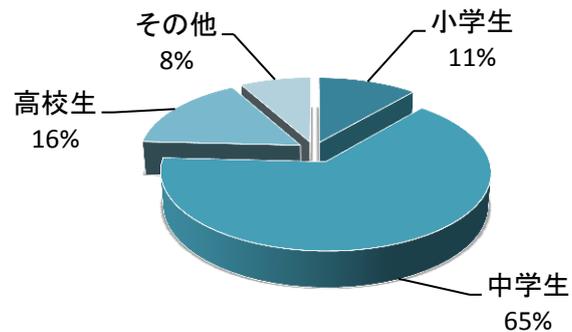
参加者の構成 (n=51)



4 子どもの通っている学校種

	数	%
小学生	7	11%
中学生	40	65%
高校生	10	16%
その他	5	8%
計	62	100%

子どもの通っている学校種 (複数回答可) (n=62)

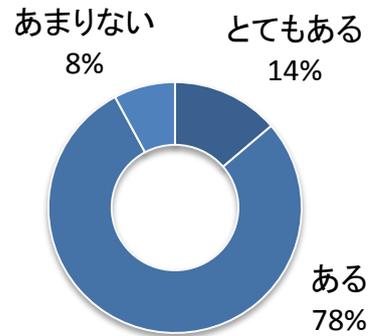


○「その他」: 幼稚園, 保育所, 大学生, 専門学校生等

5 人権に対する関心度

	数	%
とてもある	7	14%
ある	40	78%
あまりない	4	8%
ない	0	0%
無回答	0	0%
計	51	100%

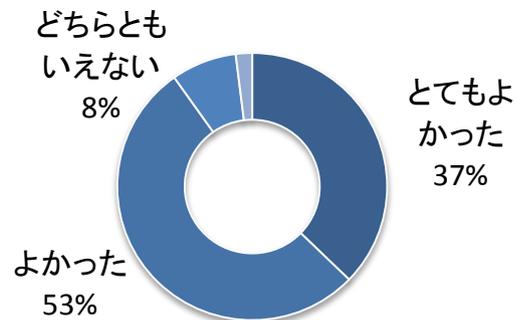
人権に対する関心度(n=51)



6 本セミナーの満足度について

	数	%
とてもよかった	19	37%
よかった	27	53%
どちらともいえない	4	8%
あまりよくなかった	1	2%
よくなかった	0	0%
計	51	100%

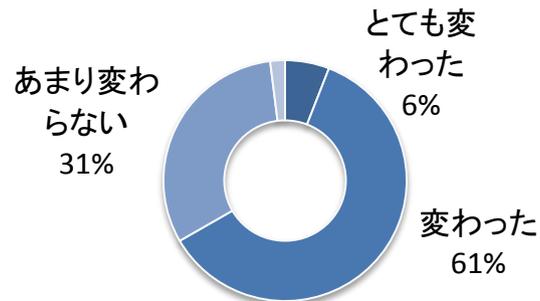
本セミナーの満足度(n=51)



7 人権に対する知識・考え方の変化

	数	%
とても変わった	3	6%
変わった	31	61%
あまり変わらない	16	31%
何も変わらない	1	2%
計	51	100%

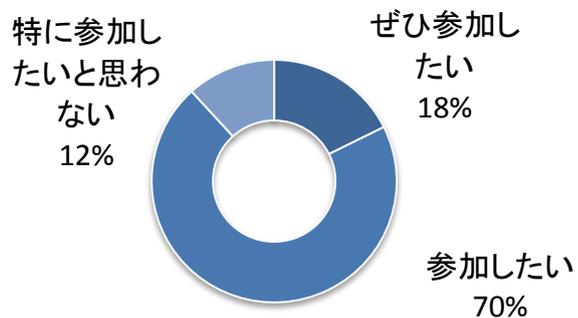
人権に対する知識・考え方の変化(n=51)



8 人権について学ぶ機会への意識

	数	%
ぜひ参加したい	9	18%
参加したい	36	71%
特に参加したいと思わない	6	12%
参加したいと思わない	0	0%
計	51	100%

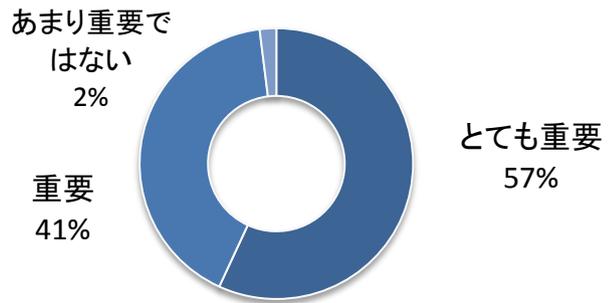
人権について学ぶ機会への意識(n=51)



9 人権について学ぶ機会の重要性

	数	%
とても重要	29	57%
重要	21	41%
あまり重要ではない	1	2%
重要ではない	0	0%
計	51	100%

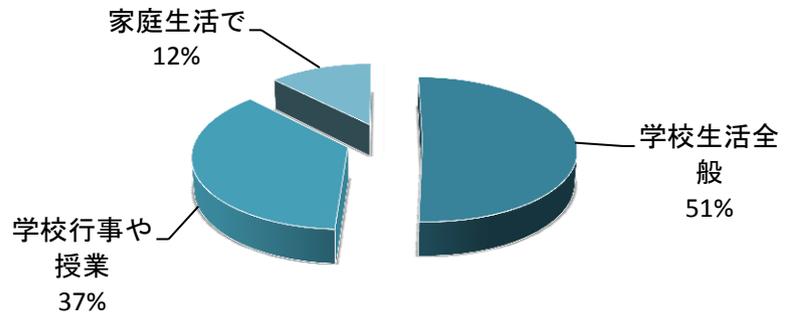
人権について学ぶ機会の重要性(n=51)



10 子どもが人権について学ぶ場

	数	%
学校生活全般	33	51%
学校行事や授業	24	37%
家庭生活中で	8	12%
その他	0	0%
計	65	100%

子どもが人権について学ぶ場は
(複数回答可)(n=65)

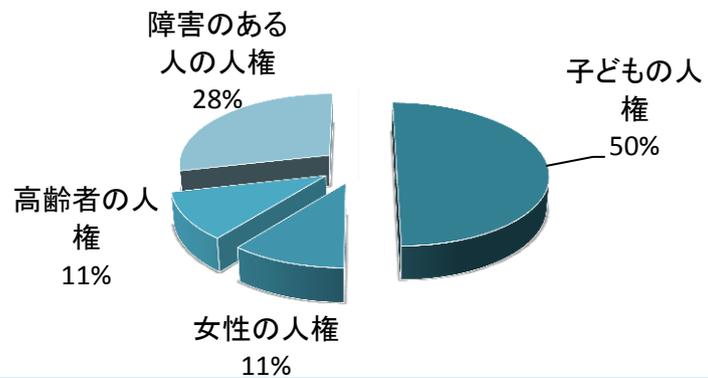


○「その他」

11 人権について今後聞いてみたい内容

	数	%
子どもの人権	28	50%
女性の人権	6	11%
高齢者の人権	6	11%
障害のある人の人権	16	29%
その他	0	0%
計	56	100%

今後人権について聞いてみたい内容
(複数回答可)(n=56)



○「その他」

12 ご意見・ご感想（自由記述）

- ・とても良いお話を伺うことができました。できれば少しでも多くの保護者と教職員にも伝わるような取組を行うことができればと思います。（40代男性 保護者）
- ・時間が短く感じました。もう少し詳しく、具体的なお話をお聞きしたいと思いました。（40代男性 教職員）
- ・分かっていたつもりですが…。子供に対して私たち大人が「子供だから」ではなく、対等に付き合っていく大切さを確認することができました。ありがとうございました。（40代女性 保護者）
- ・互いに理解し合う、認め合うということを再確認しました。子供たちにもあらゆる場面で伝え続けて行きたいと感じました。多忙感の解消に努め、子供たちと向き合う時間を確保していくよう職場でも取り組んでいきたいと考えます。（50代男性 教職員）
- ・一般論よりも、具体的な問題例と対応を聞かせていただけると、さらに良かったと思います。（50代男性 教職員）
- ・学校の中で、大切なことを改めて考えさせられました。①多忙感の解消、②裁量性を職員に持たせることを意識して、取り組んでいくことで、大きく改善されるのではないかと感じました。（50代男性 教職員）
- ・土井先生のお話は大変参考になりました。しかし、先生のお話を実践するためには、教育という構造を変えないと実行できないと感じました。我々自身常に管理されているのです。（50代男性 教職員）
- ・チャイルドラインみやぎについては、カードでしか知識がなかったので、主宰している方の話から、生の現状を聞くことができるのは有意義でした。（50代女性 教職員）
- ・2本立ての講演と言うことで、別な角度から考える機会となりました。ただ、時間が短かったのが残念でした。もう少し具体的なことも取り入れて聞いてみたい内容でした。（50代男性 教職員）
- ・違う立場の2人の先生方から人権についてお話をいただいたことで、今後の指導・支援につながります。（50代男性 教職員）
- ・普段と違った角度からの考えを聞くことができ、とても有意義でした。（50代男性 教職員）
- ・全体の場合での質問は難しいので、今回の懇親会のように、個別に対応していただけるような機会があると大変良いと思います。（50代男性 教職員）
- ・大変内容の濃い講演でした。ありがとうございました。日々の教育活動や学校経営を考えるとときの視点として胸に刻みたいと思います。（50代女性 教職員）
- ・「忙しい」ということが、先生方にも子供たちにもマイナスになり、ストレスになることを分かりやすく説明していただき、本当に良かったです。土井先生のお話をもっと伺いたかったです。とてもよいセミナーでした。役員の方へ御礼申し上げます。（50代女性 教職員）
- ・本セミナーを開催していただき、ありがとうございました。なかなか人権についてお話を伺う機会がなく、改めて人権について考えさせられる良い機会となりました。（50代男性 教育関係者）
- ・本日は、貴重なお話ありがとうございました。大人として、管理職として、改めて考えさせられるものでした。直接子供と話す機会が少ない管理職ですが、先生方が子供と触れ合える、心のゆとりと時間のゆとりを、作ってあげたいと感じました。（50代女性 教育関係者）

13 考察

※本セミナーは、栗原市PTA連合会と共催で、栗原市PTA会長・校長・事務長（教頭）研修会として開催しているため、40～50代の男性の比率が高い。

※人権に対する関心度は92%と高く、本セミナー満足度も同様に高かった。

※98%が人権について学ぶ機会を重要であると考え、80%がさらに学びたいと考えている。

※「講演1」では、「子どものSOSを受け止めて」という演題で、チャイルドラインみやぎに寄せられる子どもたちの電話から、現在の子どもたちが抱えている現状とその背景について示していただいた。それをもとに、子どもの悩みを受け止める大人（特に保護者や教師）の役割について、具体的に示していただいた。

※「講演2」では、「いじめを見過ごす日常業務の落とし穴と管理職の役割」という演題で、「忙しい」と「裁量性」をキーワードに、日常教務における管理職の役割についてお話をいただいた。教職員が、「忙しい」と感じるときと「裁量」を認められない時の脳と身体の状態から、教師の能力を発揮させる管理ワークとは、できる限り忙しさを解消し、裁量を認めることであることを示していただいた。

※お二人の話とも、「人権」を身近な目線で分かりやすく感じさせるものであった。一人ひとりの子どもの権利を守るためには、全ての人々が常に子どもを認め励ますことのできる社会を形成する必要がある。そのために今回聴講した一人ひとりが、学校で、家庭で、意識した行動をとることが大切であると考えさせられた。このような話を、できるだけ多くの保護者に聞かせていきたい。